

令和5年度学校評価書 磐田市立東部小学校

評価⇒A:強く思う B:そう思う C:あまり思わない D:全く思わない

重点	核となる教育活動	目標・取組	評価指標・目標数値 (A:強く思う の児童の割合)			自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
			A 児童	肯定値 (A・B) 児童	否定値 (C・D) 児童			
①② (共) (自) (生) (立) 自分も相手の思いをもみもんで、粘り強く取り組む子	集団としての力を培う「徳」「知」「体」の重点事項	◆徳育 自分・他者のことを考え温かな心でつながる ・伝統を引き継ぐKTA活動 ・子供の主体的な活動を重視した連帯感や協調性、社会性の育成 ・人権を意識する人間関係づくり ・心にひびく生徒指導 ・多様な人々との交流 ・心を育てるタグラグビー ・道徳の時間を要として学校教育全体を通じて行う道徳教育	清掃に、黙動で時間いっぱい取り組んでいる「K」・・・目標40%以上	35%	88%	12%	B	○徳育 「KTA」を大切に、さらに自分たちでできることを進んで行ってこうと、KTAに込められた思いや活動内容を教師も子供たちも再認識して取り組んだ。その結果、昨年度より数値も高くなり、愛校活動に取り組む高学年の姿や廊下での会釈や挨拶の声等、確実に子供たちがKTAを意識して生活していると変化を感じられている。 ※今後も東部小が受け継いできた「KTA」を大切にしたい教育活動を更に推し進めていく。徳育だけでなく、知育と体育でも「KTA」を取り入れ、子供たちが東部小の自慢として誇れる活動になっていくように進めていく。 ○知育 全国学力・学習状況調査(6年生)では、国や県とほぼ同じ正答率だった。しかし、子供の自己評価は低く、授業の様子から「わかった」「できた」と感じている子は多くいるが「深まった」は実感できていないように思える。また学習用端末を活用し、個に応じた学習を進めたり、グループや学級で一緒に学習したりと新しい学習スタイルで学ぶ経験を積むことができた。 ※「深まった」をより実感できるよう、ICTを効果的に活用した学習や探究的な学習をさらに進めていく。 ※落ち着いて集中して授業に臨めるよう、学習環境を整えることを大切に、「聞く・聴く」ことを大切にしたい授業づくりをしていく。 ○体育 今年度は夏の猛暑を受け、思いっきり外で体を動かす機会が減ってしまったためか、運動に関する項目の子供たちの数値も高くなかった。体育の授業では、意欲を持続させたりめあてをもって取り組ませたりするために、体育カードなどの工夫を行った。校技タグラグビーを柱とするために、総合的な学習の時間を中心に教科横断的な指導を行ったり、各学年の東部カップの開催時期や方法を工夫したりした。また、全教員でタグラグビーの研修を年間通して行い、教員もタグラグビーに親しみ、実技を通してルールや指導方法を学んだ。 ※体育の授業を中心にすべての体育的活動においてめあてと振り返りを行う。食育等を通して、心身の健康を気遣える力を高められるようにする。
			ルールを守り、友達と仲良く協力している「T」・・・目標60%以上	59%	95%	5%	A	
			自分から進んで挨拶や会釈をしている「A」・・・目標50%以上	53%	89%	11%	A	
		◆知育 「わかった」「できた」「広がった」「深まった」の学びの実感を積み重ねる ・確かな学力が育つ土壌作り ・個が生きるきめ細かな教育の充実 ・「みやのもり学府(よつば学府)」小中一貫教育の推進・幼小の円滑な接続	授業で、勉強している内容が分かる・・・目標50%以上	45%	92%	8%	A	
			進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している・・・目標45%以上	37%	83%	17%	B	
			決めた量の給食を残さず食べている・・・目標60%以上	50%	79%	21%	B	
		◆体育 健やかな生活を実現する(心身の健やかな成長を支える健康教育) ・運動、食育を通して行動体力・防衛体力の向上 ・安全に関する指導、危険予知力の向上 ・心身の健康の保持増進 ・校技「タグラグビー」を柱にした体育経営	外で遊んだり、運動したりしている・・・目標60%以上	49%	80%	20%	B	
			めあてをもって、運動に取り組んでいる・・・目標55%以上	46%	85%	15%	B	
			決められた環境の中で、個に対するきめ細かな指導がより充実していくように希望する。					

学校関係者評価を受けてのまとめ

・東部小に受け継がれてきた「KTA」は、保護者や地域にもその言葉や精神、活動が根付いていると感じた。今後も、この「KTA」を大切に、子供たちの主体的な活動を充実させる。KTAを学習や運動・健康教育にも取り入れ、教育活動全体で意識して取り組んでいく。
 ・学習用端末を上手に活用し、子供たちの学力向上や自分事として学ぶ気持ちの向上に努めていく。また、個に応じた指導や支援も丁寧に行っていく。
 ・校技「タグラグビー」のよさを生かすべく、校内で実施する東部カップ等タグラグビーに関する活動を充実させていく。タグラグビーで子供たちの心(KTA)心を育てたり、タグラグビーの様々な知識を広げていくために、わくわくの時間(総合的な学習の時間)の中で、探究的な学習を行うなど今年度の実践を生かして今後も取り組んでいく。
 ・食育を計画的に実施し、健やかな体と心育てる。また、家庭にも働き掛け、ともに取り組んでいく。